



小規模事業者持続化補助金活用セミナー やります！



浦土井 健二

徳島県よろず支援拠点コーディネーター

中小企業のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。

■はじめに

徳島県よろず支援拠点でコーディネーターとして勤務しております浦土井です。私は、主に徳島県西部での出張相談と共に、毎月開催している「小規模事業者持続化補助金活用セミナー」を担当しています。当セミナーでは、小規模事業者持続化補助金（以下、当補助金）の活用を円滑に行うために、「理解を深める」ことを目的とし、基本を分かりやすく事例を踏まえて伝えています。

活用セミナーを通して、徳島県からの申請が増えることを願いながらの開催。参加無料、オンライン対応でご自宅からも参加ができます。検討されている方は、是非ともご参加ください。

■求められる「売上拡大」に効果的

「よろず支援拠点」の活動実績では、相談事業者の従業員規模は「創業前、20人以下」が89.2%で最多。さらに、相談内容としては「売上拡大」が69.6%と一番多くなっています。（令和3年度全国活動実績より）

小規模事業者の売上に関する課題解決が、最も多い相談内容だと言うことができます。このような背景もあり、「小規模事業者が取り組む地道な販路開拓等の取組」の経費の一部を補助してくれる当補助金は、有効な支援ツールとして重視しています。

■採択が受けやすい補助金

当補助金の採択率の推移は高い状況で推移しており、直近では採択率60～70%です。「事業再構築補助金」や「ものづくり補助金」と比べても、採択を受けやすい補助金です。

【小規模事業者持続化補助金の採択率推移】

	応募件数	採択件数	採択率
第1回	8044	7308	90.9%
第2回	19154	12478	65.1%
第3回	13642	7040	51.6%
第4回	16126	7128	44.2%
第5回	12738	6869	53.9%
第6回	9914	6846	69.1%
第7回	9339	6517	69.8%
第8回	11279	7098	62.9%

採択率の推移を見ると、割合は少ないとはいっても一定の傾向があります。申請にあたり、「採択を受ける方法」を考えることは重要です。ただ、「不採択となる方法」を考えてみると、申請に向けて注意する箇所が見えてきます。活用セミナーでは、下記の内容を詳しく伝えることに重点を置いています。

【活用セミナーの内容】

1. 補助金の理解を深める

事業者の申請内容を確認すると、補助金の目的に合っていないと考えられる内容が散見されます。補助金には、それぞれ目的があり、当補助金の場合は「地道な販路開拓等の取組」です。補助事業計画の内容や経費が目的に合わない場合は、採択の可能性が低くなってしまいます。当補助金の理解を深めることができます。事例を交えながらセミナーで詳しく説明しています。

2. 補助事業計画書の内容

徳島県よろず支援拠点では、補助事業計画書に対してのアドバイスも行っています。中には10回以上も相談（オンラインも可）して、申請される方もいらっしゃいます。

当補助金の書面審査ポイントを考慮に入れて、作成のアドバイスをしています。

【書面審査のポイント】

- ①自社の経営状況分析の妥当性
- ②経営方針・目標と今後のプランの適切性
- ③補助事業計画の有効性
- ④積算の透明・適切性

以上の項目に基づき加点審査を行い、総合的な評価が高いものから順に採択を行っています。一見、難しいように思える審査のポイントですが、採択率が高いこともあり採択事業者の計画書はシンプルで解りやすいものが多い印象です。相対評価となりますが他の事業者のクオリティを見ることができないことから、ギリギリまで完成度を高める努力することが重要です。

■何度も活用できるメリット

当補助金は、採択を受けても一定期間経過すると再度申請することができます（令和4年12月公募要領より）。これにより有効活用している方の中には、すでに3回も採択を受けた人もいるほどです。事業者が自ら申請するノウハウを身に付けることで、有効活用が可能となります。

■最大のメリットは、 計画を作ること

「小規模事業者の事業活動の実態把握調査（2016）」では、「経営計画の作成の有無」のアンケートに対し、「作成したことがある」と答えた事業所が53.0%。さらに、同調査にて「経営計画を作成した背景」のアンケートには、「補助金申請が必要となったから」という回答が59.1%で1位でした。「経営計画を作成した効果」として、1位「経営方針と目標が明確になった」、2位「自社の強み・弱みを認識できた」という結果です。

補助金の申請が理由で計画書を初めて作成した事業所が多く、さらに、計画書



を作成してみた結果として、事業を見直す良いきっかけとなっていることが推察されます。

実際に支援をさせていただいた方の中には、計画書を作成する過程で目標が具体的になる方がいます。それにより、前向きなアイデアがたくさん出できます。

当補助金の申請を行う方の多くは、「経費の補助」が目的ではあります。しかし、計画を立てるプロセスこそが、事業を行う上でのメリットとなっていることも多く、苦労して計画書を作成された方々が補助金を売上げに繋げていけていると考えられます。

■採択を受けてからが本当のスタート

無事に採択を勝ち取ることができたとしても、補助金が入金されるわけではありません。当補助金は、採択を受けてからが本当のスタートとなります。作成した補助事業計画書の真価が問われる本番となるわけです。実際、採択を受けたにも拘わらず、補助金を受けられない事例は少なくありません。「忙しくて補助事業を実施しなかった」という事業者や、「忙しくて実績報告書を提出できなかっただ」、「現金で支払ってしまった（一定以上の支払いは振込が必須）」など、様々な問題が発生しています。

当補助事業を円滑に進めて経費補助の入金を得るまで、申請時点での当補助金の理解と補助事業計画書の作り込みが大切になります。

活用セミナーでは、採択後を踏まえた一連のスケジュールを伝えながら円滑に補助金を受け取れるように案内しています。また、希望する事業者には、採択後にもヒアリングなどを実施しながらフォローを行っています。

■おわりに

補助事業の目的から、事業者へのメリットが大きく、更に採択率も高いことで申請がしやすい小規模事業者持続化補助金。申請をきっかけに、計画書にチャレンジしてみてはいかがでしょう。

まずは、活用セミナーを通して理解を深めていただくことで、将来の可能性を模索してみてください。

※小規模事業者持続化補助金の公募要領（R4年12月）を元にして情報を掲載しています。公募要領は、定期的に改訂されます。申請を検討される場合は、必ず最新の公募要領をご確認ください。

■セミナー情報

小規模事業者持続化補助金活用セミナー

場所：ハイブリッド開催
(会場、オンライン)

時間：13:30～14:30

※開催日はホームページでご確認ください



小規模事業者持続化補助金活用セミナー（序章編）YouTube

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8
徳島経済産業会館2階 よろずにゴー

電話 088-676-4625

HP <https://yorozu-tokushima.go.jp/>

受付時間

【平日】9:00～17:45

【休日相談会】

●第2・第4日曜日

10:00～17:00

徳島駅前ポップ街

●第1・第3土曜日

10:15～17:00

アミコビル9F

（最新情報を確認して下さい）

新型コロナウイルスに関する
経営相談窓口を設置しております。

相談希望の方は上記、徳島県
よろず支援拠点にご連絡ください。